

① 旧官立弘前高等学校創立10周年記念碑



平成元年（1989）8月、弘前市制100周年に合わせて「旧官立弘前高等学校創立10周年記念碑」「旧官立弘前高等学校創立40周年記念碑」及び「永澤誠蔵先生頌徳碑」の三基が、現在の人文社会科学部の中庭に移設されました。その後、旧制弘前高等学校同窓会の寄附によりこの中庭の環境整備が行われました。

この三基の石碑の中で一番小さな碑が「旧官立弘前高等学校創立10周年記念碑」です。碑面の左側に「拾年勤続者建之」とあり、昭和6年（1931）10月6日、官立弘前高校の創立10周年を記念し、10年以上の勤続者によって建てられたものです。碑面中央には「聊表銜環情」と刻まれています。聊（リョウ）とは「いささか」とか「なんとはなしに」、「銜環」（ガンカン）とは「恩に報いる」という意。わずかですが恩に報いる気持ちを表しますと

いうこと。後漢の楊宝（ヨウホウ）が黄雀を救って環（カン：◎型の輪の形をした玉）を得たという故事によるものです。右側には「昭和6年10月6日 為記念植樹」とあり、記念碑の側に桜の木が植えられました。記念の桜は今や大木となり、毎春美しい桜花を咲かせています。

〔引用文献〕

1. 旧制弘前高等学校同窓会（編）（2005）．旧制弘前高等学校史, 219-220.
2. 本間正行（2004）．学園だより キャンパス散策「弘前大学構内の記念碑」, 142, 34.
3. 工藤睦男（2005）．弘前大学同窓会報 弘大「石碑を訪ねる」その1, 6, 6.